

- ◆ 長野財務事務所では、**信州大学**、**日本公認会計士協会東京会長長野県会**(以下「長野県会」と連携して、経法学部への改組に伴い、同大学が重視する実践系科目主体のアクティブラーニングの一環として、公認会計士等の会計実務に即した寄附講座を実施(平成27年10月～28年1月)。
- ◆ 当所では、ネットワークを駆使して、当該講義の講師として、公認会計士・監査審査会常勤委員 廣本 敏郎氏(現:公認会計士・監査審査会会長)を招聘するだけでなく、業界著名人である元国際会計基準審議会(以下「IASB」)理事 山田 辰己氏(現:有限責任あずさ監査法人パートナー)も招聘。**全国的に見てもハイレベルな講義を提供**することで、地元人材の育成に寄与。関係者相互間の関係強化にもつながった。
- ◆ 当所は、長野県会との連携を維持しつつ、更なる当所のネットワーク拡大を目指すほか、当取組について、当局管内の他の財務事務所への横展開を図るとともに、長野県会に、日本公認会計士協会東京会傘下の他の県会・地区会への協力等を依頼していく。

1. 成果事例の概要等

- 長野財務事務所では、従来より業務等で信州大学、長野県会と連携を図っている。
- 一方、信州大学では、従前から公認会計士等を志望する学生がいる中、28年度の経法学部設置に伴い、実践的教育を重視するアクティブラーニングを教育の主軸の一つとし、その一環として資格志望の学生を増やす観点から、会計監査の実務等に即した講座への講師派遣依頼が、当所にあった。
- 当所は、講義内容の充実を図る観点から、同大学に長野県会との共催を提案。
- 当所は、同大学及び長野県会と議論を重ね、講義科目、内容、講師等の分担を決定。全15回の講義のうち、当所はディスクロージャー制度の概要等、4回分の講義を担当(残り11回は長野県会)。
- 当所のネットワークを駆使して、講師として公認会計士・監査審査会常勤委員(現:公認会計士・監査審査会会長)の廣本 敏郎氏(27年10月)や業界著名人である元IASB理事(現:有限責任あずさ監査法人パートナー)の山田 辰己氏(28年1月)を招聘し、全国的に見てもハイレベルな講義の提供に寄与。



廣本委員による講義の様子
(27年10月)

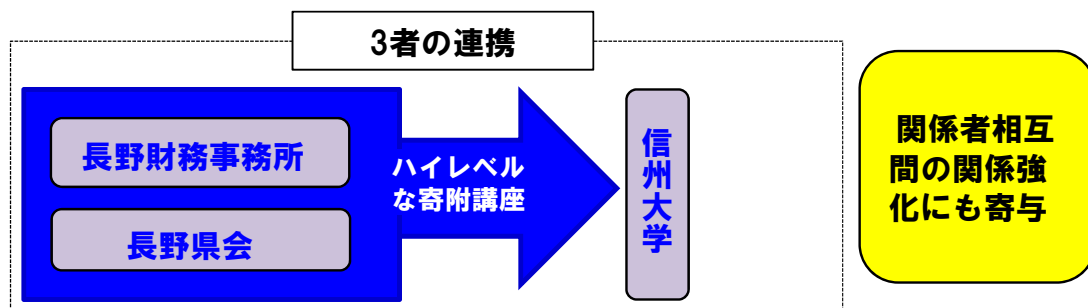


理財第2課長による講義の様子
(27年10月)

ハイレベルな講義を提供することで、地元人材の育成に寄与。

2. これまでの取組の成果等

- 業界著名人の講義を実現し、地元人材育成に寄与することができた。
- 当取組は、会計実務に即した実践系講義の開設を目指す同大学、将来の公認会計士の質的向上及び公認会計士試験受験生の増加を目指す長野県会、地域連携等による地域貢献を目指す当所の3者の各目標に合致し、3者がWin-Winの関係となる取組となった。
- 当取組を通じて、同大学及び長野県会との関係がより強化。長野県会主催の研修会への当所からの講師派遣依頼や、同会総会に当所所長が招かれるなど、新たな連携につながった。
また、同会総会に出席することで、当所と他の士業団体との新たな接点も生じ、当所のネットワークの拡大にもつなげることができた。



3. 今後の長野財務事務所の対応

- 長野県会との連携を維持するとともに、他の士業団体との接点を活かし、更なる当所のネットワーク拡大を目指す。
- 同講座の継続開催に向けて、関係者との連携維持や学生のニーズを把握した魅力的な講師の確保に努めるなど、今後も地域の人材育成の取組等に寄与していく。
- 当所は、当取組について、当局管内の他の財務事務所への横展開を図るとともに、長野県会に、日本公認会計士協会東京会傘下の他の県会・地区会への協力等を依頼していく。